

令和6年4月吉日

一般社団法人陵水会東京支部  
会員各位

陵水会東京支部長 能島伸夫

一般社団法人 陵水会東京支部  
令和6年度 東京支部総会 議案資料

- 審議事項： ・ 第一号議案：令和5年度の活動報告と収支報告（資料1）  
・ 第二号議案：令和6年度の活動方針と予算案（資料2）  
・ 第三号議案：役員人事（資料3）

報告事項： 彦根高商創立百周年記念事業の報告（口頭説明）

議案決議の要領

令和6年7月6日開催予定の総会は、会場出席者のみで行い、議案決議は、規則第三章第10条に従い、会場出席者の過半数をもって行います。尚、可否同数の場合は、議長がこれを決めます。

第一号議案 資料1

令和5年度活動報告と収支報告：

1. 令和5年度活動報告：

- ① 支部活動の活性化
  - ・ 令和5年度総会・懇親会を人数制限なしに開催。総勢192名が出席。
  - ・ 支部新役員に緒方氏（大29）、鈴木氏（大29）、丸山氏（大34）、岡本氏（大41）を選出
  - ・ 年次幹事の改編を実施。64名が就任。任期は、令和7年秋季役員幹事会までの2年間。
- ② 彦根高商創立百周年記念事業への支援
  - ・ 記念事業の為に募金活動を継続。個人・法人共に支部目標を達成。
  - ・ 昨年11月4日開催の記念式典・祝賀会や市民講座へ、積極的に協力。
- ③ 支部から大学への人材教育支援
  - 「キャリアデザイン論」（一般教養科目）の講師候補として近安里夫さん、三浦祐督さん、青木理恵さんに陵水人材バンクへの登録を依頼、昨秋学期に講師として講義して頂いた。
- ④ Next Ryosui 活動への支援
  - ・ 大学のクラブ活動としてのNext Ryosuiを支部役員が積極的に支援。
  - ・ 公式LINEへの各種動画配信（キャリアデザイン論講師7名やノーベル平和賞受賞者のムハマド・ユヌス教授とのインタビュー等）
- ⑤ 陵水新聞111号の充実
  - ・ 多方面へ寄稿を依頼し紙面の充実を図った。
  - ・ 関連するHP・団体等のQRコード・URLを掲載し読者の便宜を向上。

・32頁（前号比6頁増）で発行。一部カラー化（表裏4頁）を実現

2. 令和5年度収支報告：

令和5年度のに収支計算書ならびに貸借対照表は、以下の通りです。

令和5年度収支計算書				単位:円
				令和5年4月1日～令和6年3月31日
<b>収入の部</b>				
勘定科目	予算金額	決算金額	前年度実績	
前年度繰越金	2,663,039	2,663,039	2,542,291	
年会費	1,260,000	1,197,000	1,188,000	
総会費	1,800,000	1,830,500	766,000	
寄付金	100,000	43,000	132,000	
広告費	280,000	260,000	240,000	
助成金	163,700	174,300	163,700	
利息	0	37	46	
雑収入	3,000	3,000	3,000	
当年度収入合計(A)	3,606,700	3,507,837	2,492,746	
収入合計(B)	6,269,739	6,170,876	5,035,037	
<b>支出の部</b>				
勘定科目	予算金額	決算金額	前年度実績	
総会費	2,150,000	2,188,578	1,184,743	
印刷費	450,000	498,042	400,905	
通信費	480,000	423,476	446,280	
運営費	80,000	0	4,950	
広報活動費	100,000	66,000	71,000	
編集費	150,000	150,000	150,000	
交通費	75,000	876	18,640	
事務用品費	10,000	7,610	2,770	
寄付	0	0	10,000	
手数料	100,000	83,108	82,710	
雑費	10,000	0	0	
当年度支出合計(C)	3,605,000	3,417,690	2,371,998	
当年度収支差額(A)-(C)	1,700	90,147	120,748	
次年度繰越金(B)-(C)	2,664,739	2,753,186	2,663,039	

- ① 収支全体では、均衡予算を組みましたが、最終的には90,147円の黒字となりました。
- ② 収入の部では、年会費支払者が目標の420名に対し、399名でした。広告収入は、広告主が11社26万円となり、前年実績比で増加しました。又、総会出席者が192名に増加しました。
- ③ 支出の部では、総会・懇親会を従来形式で実施しました。印刷費・通信費・運営費・広報活動費の削減努力で収入減以上に経費を削減しました。

貸借対照表				
				令和6年3月31日
<b>資産の部</b>		<b>負債・資本の部</b>		
現金	0	前受金		207,000
預金	2,960,186	未払金		0
基本金引当預金	1,060,000	基本金		1,060,000
未収金	0	次年度繰越金		2,753,186
資産合計	4,020,186	負債・資本合計		4,020,186
				単位:円

3. 監査報告：

令和5年度陵水会東京支部の支部長等の職務の執行に関して、ご報告致します。

(1) 監査の方法およびその内容：

私たち監事は、支部規則第7条の規定に基づき、役員幹事会等の重要な会議に出席し、又、支部長等から職務の執行状況を聴取し、会計帳簿またはこれに関する資料を調査し、当該年度に係る計算書類（貸借対照表、収支計算書）について検討いたしました。

(2) 監査の結果：

支部長等の支部運営の執行が適正に行われており、又、計算書類は、支部の財産及び収支の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

令和6年4月5日

一般社団法人陵水会 東京支部

監事 岡田 憲治 ㊟

監事 松澤 進 ㊟

第二号議案 資料2

令和6年度活動方針と予算案：

1. 令和6年度活動方針：

「参加して良かった東京陵水」、この体験を積み上げる事で、支部活動への参加会員の裾野を広げ、学生や若手会員への支援を含めた会員相互の交流を促進し、会費等の収入の増加に繋げ、更なる活動への原資とするという好循環を生む事を目指し、以下の4点を重点活動施策とします。

- ① 支部組織の活性化
  - ・ 令和6年度「総会」の開催方法を役員幹事会で提案。
  - ・ 若手・女性会員の増員と支部活動への参画を推進
  - ・ 会員相互の懇親の場を新設し会員間の交流を即す
- ② 実業側から大学への人材教育支援
  - ・ 「キャリアデザイン論」への講師派遣、及び人材バンクへの人材推薦などの協力体制を維持
- ③ Next Ryosui 活動への支援
  - ・ 引き続き、支部として Next Ryosui と連携を取り、若手会員・現役との交流促進に注力。
- ④ 陵水新聞・HP その他広報活動の更なる充実
  - ・ 陵水新聞（112号）の更なる充実
  - ・ 支部HPと陵水新聞の連携を図る

2. 令和6年度収支予算案：

令和6年度予算案を、以下方針で提案します。

- ① 収入の部では、年会費支払者420名を目標とし、新聞広告主11社を維持します。HPに法人のパナー広告を載せる事を検討する等、収入増を目指します。
- ② 支出の部では、秋の郵便料金値上げの影響で、通信費が増加する見通しです。総会は、200名以上の出席を目指します。新聞は、一部カラー化を継続した上で、ページ数を再検討する等により、経費削減に努めます。一方、支部会員相互の懇親の場を新設し、会員間の交流を即す為、運営費を10万円計上します。これらにより、令和6年度は、単年度では10万円弱の赤字予算となります。

令和6年度 収支予算案		単位円
令和6年4月1日～令和7年3月31日		
収入の部		
勘定科目	予算	前年度実績
前年度繰越金	2,754,811	2,663,039
年会費	1,260,000	1,197,000
総会費	2,000,000	1,830,500
寄付金	100,000	43,000
広告費	260,000	260,000
助成金	174,300	174,300
利息	40	37
雑収入	3,000	3,000
当年度収入合計(A)	3,797,340	3,507,837
収入合計(B)	6,552,151	6,170,876
支出の部		
勘定科目	予算	前年度実績
総会費	2,350,000	2,188,578
印刷費	500,000	498,042
通信費	500,000	423,476
運営費	100,000	0
広報活動費	100,000	66,000
編集費	150,000	150,000
交通費	75,000	876
事務用品費	10,000	7,610
手数料	100,000	83,108
雑費	10,000	0
当年度支出合計(C)	3,895,000	3,417,690
当年度収支差額(A)-(C)	-97,660	90,147
次年度繰越金(B)-(C)	2,657,151	2,753,186

第三号議案 資料3

役員の異動：

- 退任：能島 伸夫（大22回）支部長 → 顧問就任  
           吉本 準一（大29回）事務局長 → 退任  
           脇阪 守（大21回）特別委員会会長 → 退任  
 新任：緒方 俊輔（大29回）副支部長 → 支部長就任  
           鈴木 教義（大29回）副幹事長 → 幹事長就任  
           藤井 登（大31回）副幹事長 → 事務局長就任  
           中村 勝（大25回）幹事長 → 副幹事長就任  
 留任（副幹事長）：上林 好一（大26回）、丸山 貴宏（大34回）、服部 進（大37回）、  
                     岡本 悠紀（大41回）、北尾 聡子（大45回）、青木 聡史（大45回）、  
                     梅田 祐貴子（大53回）  
 留任（監事）：岡田 憲治（大18回）、松澤 進（大38回）

以上